

## 山口県のドングリ

### (15) 錦町、美川町、本郷村、美和町の神社林のドングリ

阿武智之・阿部弘和

山口大学教育学部生物学研究室

Fagaceae in Yamaguchi Prefecture

(15) Fagaceae in the compound of shrine in Nishiki-cho,  
Mikawa-cho, Hongo-son and Miwa-cho

Tomoyuki ANNO and Hirokazu ABE

(Biological Institute, Faculty of Education, Yamaguchi University)

(Received September 30, 2005)

#### Summary

The specie of Fagacea in the compound of 27 shrines in Nishiki-cho, 12 shrines in Mikawa-cho, 10 shrines in Hongo-son, and 32 shrines in Miwa-cho was investigated.

Fourteen species belonging to four genera, 8 broad-leaf evergreen species and 6 broad-leaf deciduous species, were identified : *Q.acuta* (in 1 shrines), *Q.glauca* (in 50 shrines), *Q.gilva* (in 5 shrines), *Q.salicina* (in 10 shrines), *Q.myrsinaefolia* (in 26 shrines), *Q.sessilifolia* (in 16 shrines) , *Lithocarpus glabra* (in 7 shrines) , *Castanopsis cuspidate* (in 8 shrines), *Q.variabilis* (in 11 shrines), *Q.dentata* (in 2 shrines), *Q.acutissima* (in 4 shrines), *Castanea crenata* (in 31 shrines), *Q.serrata* (in 26 shrines), and *Q.crispula* (in 2 shrines). The average number of species per a compound in Nishiki-cho, Mikawa-cho, Hongou-son and Miwa-cho was 2.0, 2.2, 2.5 and 2.9, respectively.

In this area, *Q.glauca* and *Castanea crenata* are dominant and common species; *Q.glauca* was observed in 62% of 81 shrines. *Castanea crenata* was in 38% of 81 shrines. It was the same as other areas that two these occupied a high rank.

To addition this, *Q.crispula* was found in 2% of 81 shrines in this area. It was a rare specie and it has never found in such high rate in 1005 shrines which has been studies.

#### 序 論

我々は山口県の自然植生を明らかにすることを目的に、各地の神社林においてドングリと呼ばれているコナラ属、マテバシイ属にシイ属とクリ属も合わせたブナ科の樹木の種類や分類等を研究してきた。そして、山口市・小郡町（花岡・阿部、1986）、阿武郡・萩市（阿部・森田、

1989)、防府市・徳地町・鹿野町(阿部・郡司、1991)、宇部市・楠町・美東町(阿部・白井、1994)、秋芳町・三隅町・長門市(阿部・白井、1995)、由宇町・岩国市・和木町(西村・阿部、1996)、大島郡(阿部・岡原、1997)、熊毛郡・柳井市・大島町(阿部・岡原、1998)、下松市・熊毛町・光市(阿部・原田、1999)、徳山市・新南陽市(阿部・原田、2000)、小野田市・山陽町・美祢市(阿部・小路、2001)、油谷町・日置町(阿部・松富、2002)、豊北町・豊浦町(松富・阿部、2003)、豊田町・菊川町(松富・阿部、2004)の合計1005の神社林で調査を行ってきた。

これら一連の研究を通じて4属17種のドングリを観察した。17種の中には、アラカシ、コナラ、ツブラジイのように山口県全域に普遍的に広く分布する種とアカガシやイチイガシのように稀な種があることが明らかになった。また、普通に見られる種であっても出現頻度は地域ごとに異なっており、内陸部にはシラカシの多くなる傾向があり、また、シリブカガシは山口県の東部や美祢市付近に偏在していること、アベマキが山口県東部を中心に瀬戸内の地方に偏在していることなども明らかになった。さらに、スダジイの分布域は海岸沿いに集中し、さらに日本海側、瀬戸内海側とも県東部に偏在することも明らかになった。

一般的には、ドングリの種類によって分布する地域の高度や気候などが異なってくるのがわかっている。この研究では、山口県最高峰の寂地山がある錦町をはじめ、羅漢山周辺の本郷村、美和町、美川町など山口県では最も標高がある地域で調査を行なった。おそらく、今まで見られなかったドングリなどの分布域の詳細を理解することができるものと予測される。そして、今回の調査によって、山口県東部地区内陸部の全域を網羅することになり、山口県東部地区にみられるアベマキ、シリブカガシなど特殊な植生域を示すドングリの分布域が明らかになるものと思われる。この研究では、錦町・美川町・本郷村・美和町の合計81の神社林でドングリの調査を行った。

## 調査の方法

調査は国土地理院の2万5千分の1の地図をもとに、実際にあった錦町の27の神社と美川町の12の神社、本郷村の10の神社、美和町の32の神社、合わせて81の神社で実施した。これらの81の神社の位置は図1に、また、神社名と所在地は表3に示してある。神社では社殿などの建造物を囲む境内の林とそれに隣接する林をできるだけ広い範囲で調査し、生えているドングリの種類と位置を調べた。さらに、大きな個体については胸高直径と樹高を測定した。ドングリの分類は阿部(1985)、原・阿部(1985)、岩田(1965)、北村・村田(1979)、および、矢頭・岩田(1966)に従い、いくつかの神社では社寺林調査研究委員会(1985)の資料を参考にした。調査は2004年7月から2005年8月に実施した。

## 結 果

### 神社と神社林の景観

今回調査した錦町・美川町・本郷村・美和町は山口県の東部に位置し、中国山地の西端の山間部である。すなわち、島根県と広島県の県境と接し、山口県最高峰である寂地山(1,337m)をはじめとし、右谷山(1,233m)や羅漢山(1,109m)など1000m級の山々を抱える高地である。また、宇佐川、錦川、小瀬川などの清流にも恵まれ、自然豊かな土地を背景に非常に林野率の高い地域となっている。

錦町は、宇佐川・錦川・根笠川沿いに集落が多く神社も川沿いに多く見られた。その中でも、

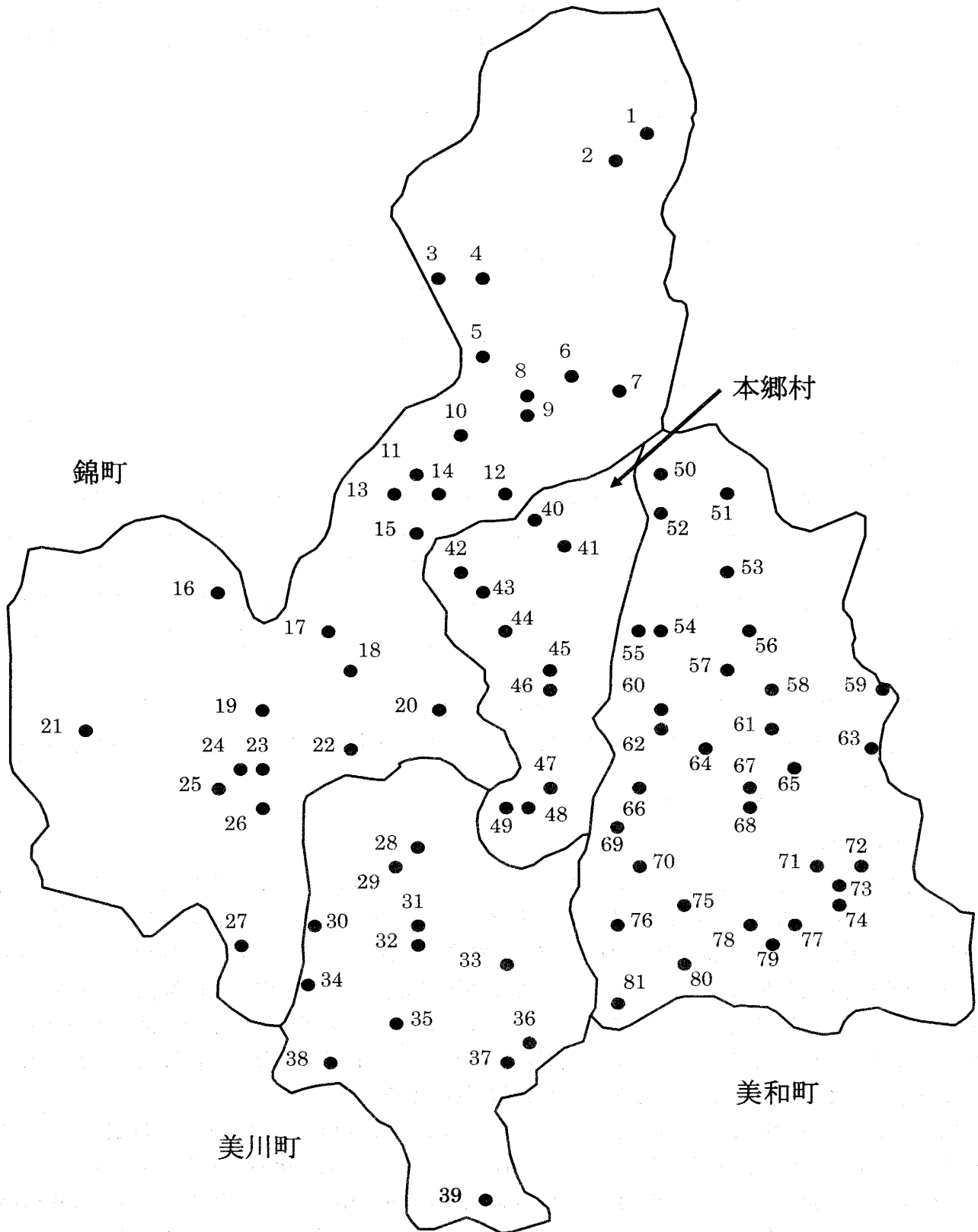


図1 神社の所在地 (番号は表3の神社の番号を示す)

宇佐八幡宮（錦町宇佐，図2 A）のスギ巨樹群（県指定天然記念物）や白山神社（錦町広瀬，図2 B）の権現山巨樹群（錦町指定天然記念物）は、巨木が立ち並ぶ壮観さであった。また、白山神社の近くにある広瀬八幡宮（錦町広瀬，図2 C）の社殿裏には直径30cm以下の比較的若いイチイガシも見られ、山口県内では非常に珍しいイチイガシ林となっている。鎮守の森として昔からの植生を保っていると想像される神社があった。

美川町は錦川沿いに集落が集中し、神社もその集落ごとに存在していた。集落がある場所も同様であるが、錦川沿いは急な傾斜になっている場所が多く神社の境内は狭かった。広い境内をもち神社林が広がる神社はほとんどなく、植林された山の傾斜の一部分に社があるといった神社が多かった。

本郷村は、本谷川と本郷川が合流する村の中心部に村落が発達し、そこには、最初の鳥居から社殿まで数百mもある大きな本郷八幡宮（本郷村本郷，図2 D）が建てられていた。この本郷八幡宮には社殿周囲に、イチイガシをはじめ、シラカシ、ツクバネガシなどの巨樹が見られ、カシの見本園としての教材価値があると思われた。また、楮祖神社（本郷村波野，図2 E）と呼ばれる、日本で唯一和紙の原料である楮の神様を祭っている特異な神社もあった。その近くには、0.1haにも満たないが、こんもりとした山全体がツクバネガシに覆われた須賀社（本郷村波野，図2 F）がみられた。

美和町は町を南北に縦断する川（小瀬川、渋前川、生見川、下畑川）が多く、全体的には平地となっている。神社の数も多く、町の全域にわたって分布していた。特に県道111号沿いには、大きな神社がみられ、ヒノキの巨樹が見られる金郷八幡宮（美和町渋前，図2 G）や大元宮（美和町西畑）は、参拝者が多いように入力が行き届いていた。また金郷八幡宮の社殿裏では、伐採された後からツクバネガシ、ツブラジイが分岐して生えてきたと思われる低木が多数観察できた。

その他、今回調査した81神社のうち23神社が河内神社であった。このような例はこれまで調べた地域ではなかった。河内神社は全域にまんべんなくあり、この地域の信仰上の大きな特徴となっていた。

## ドングリの種類

81の神社であわせて4属14種のドングリを観察した。各神社の種類は表3に示してある。最も種類が多かったのは、錦町の水神社と本郷村の本郷八幡宮で8種類のドングリがあった。5種類以上を観察することができたのは、宇佐八幡宮（錦町宇佐）、野谷神社（錦町野谷）、河上社（美和町秋掛）、河内社（美和町釜ヶ原）、跡社神社（美和町瀬戸ノ内）、河内神社（美和町滑）、金郷八幡宮（美和町渋前）の7社であった。これに対してドングリが全くない神社が12社あったが、隣接する山にはスギ・ヒノキが植樹されており、樹木が全くない神社はなかった。81の神社を平均すると1神社あたりのドングリの種類数は2.5となった。

14種のドングリの中で、常緑のドングリはアカガシ（*Q.acuta*）、アラカシ（*Q.glauca*）、イチイガシ（*Q.gilva*）ウラジロガシ（*Q.salicina*）、シラカシ（*Q.myrsinaefolia*）、ツクバネガシ（*Q.sessilifolia*）、シリブカガシ（*Lithocarpus glabra*）、ツブラジイ（*Castanopsis cuspidata*）3属8種で、落葉性のドングリはアベマキ（*Q.variabilis*）、カシワ（*Q.dentata*）、クヌギ（*Q.acutissima*）、クリ（*Castanea crenata*）、コナラ（*Q.serrata*）、ミズナラ（*Q.crispula*）の2属6種であった。

14種類のドングリの中で最も多かった種はアラカシで81神社の62%にあたる50の神社にあっ

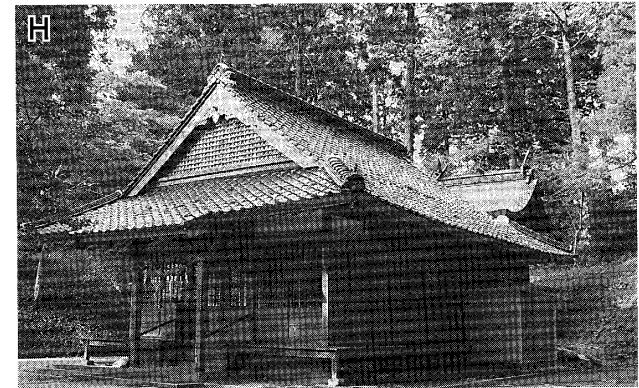
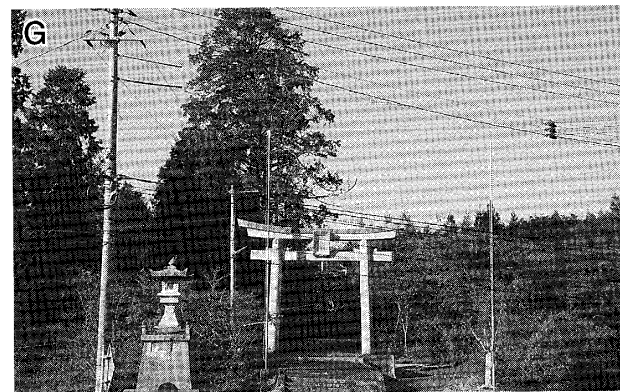
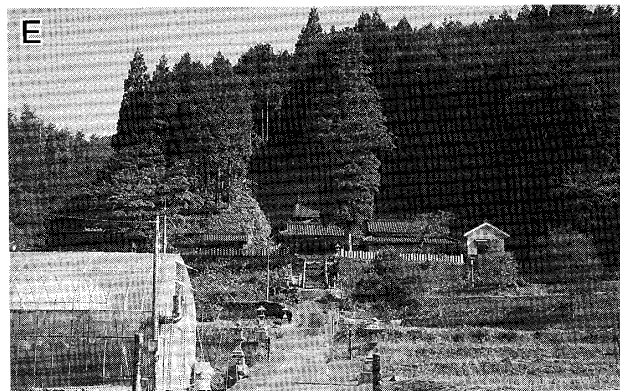
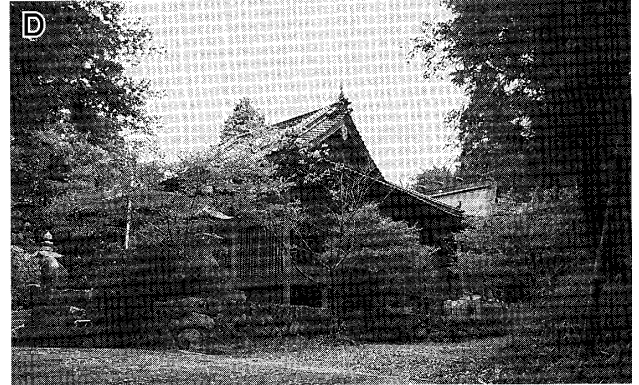
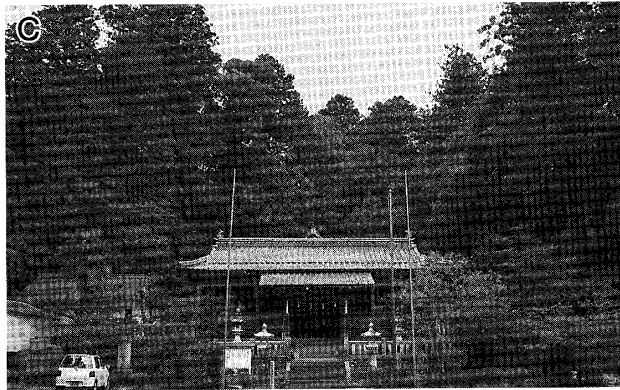
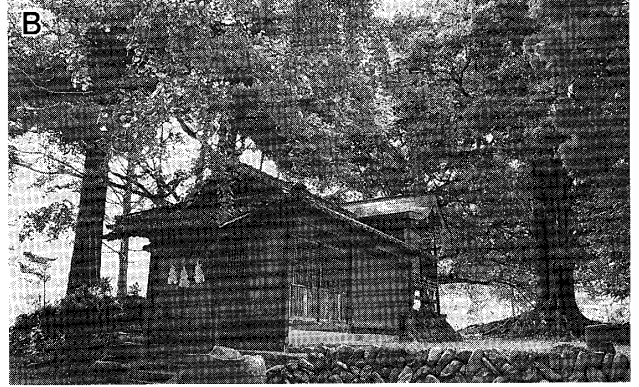
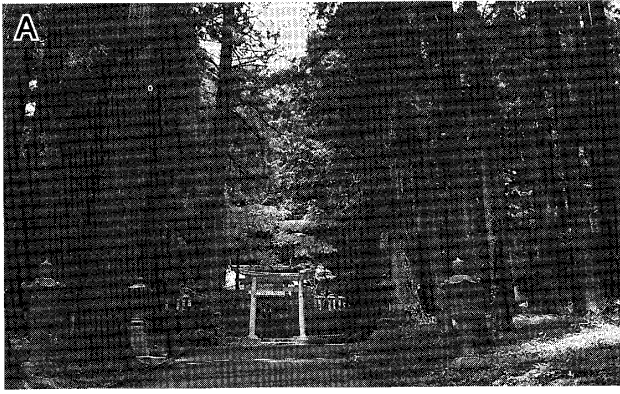


図2 神社と神社林 (その1)

- |                |               |               |
|----------------|---------------|---------------|
| A. 宇佐八幡宮 (錦町)  | B. 白山社 (錦町)   | C. 広瀬八幡宮 (錦町) |
| D. 本郷八幡宮 (本郷村) | E. 楮祖神社 (本郷村) | F. 多賀社 (本郷村)  |
| G. 金郷八幡宮 (美和町) | H. 大元宮 (美和町)  |               |

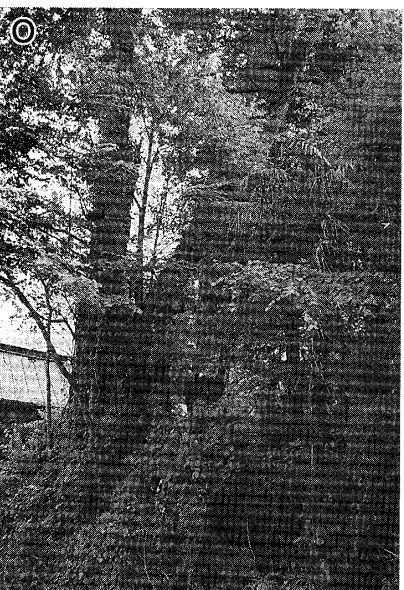
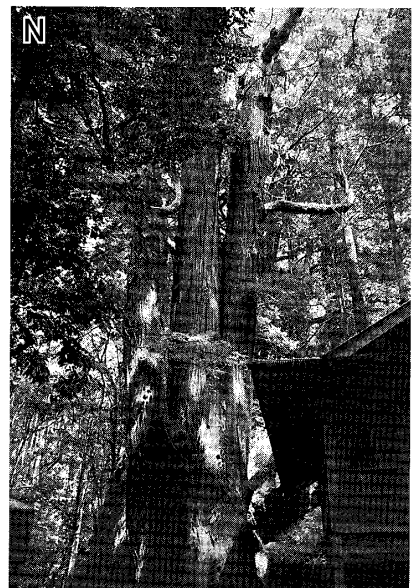
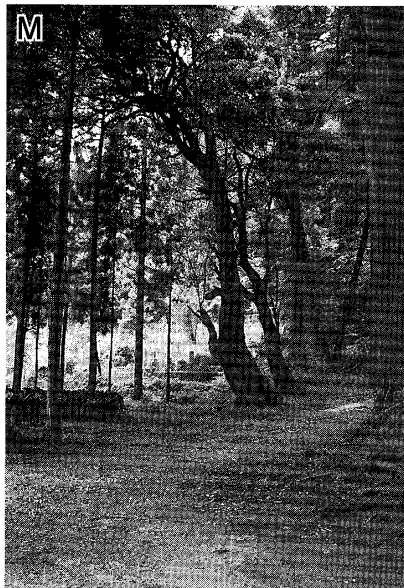
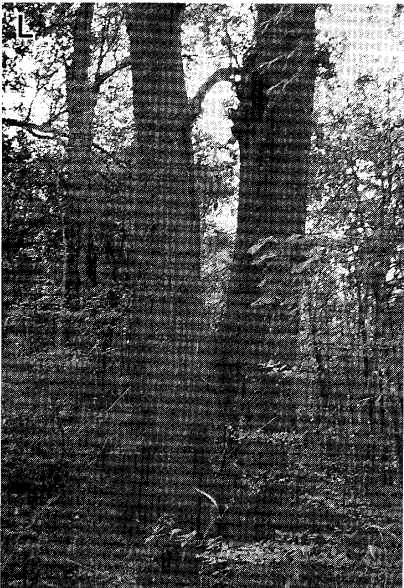
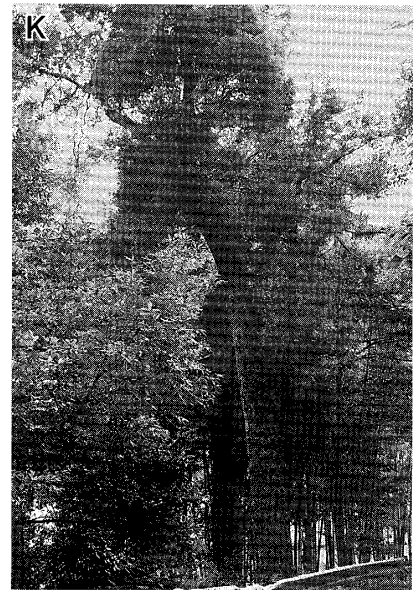
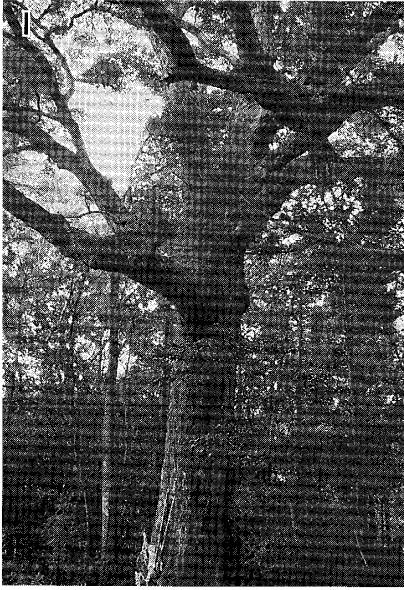


図2 神社と神社林(その2)  
I. イチイガシ(本郷八幡宮)  
J. イチイガシ(白山社)  
K. イチイガシ(河内神社)  
(美川町)  
L. ツクバネガシ(府谷八幡宮)  
M. ウラジログシ(宇佐八幡宮)  
N. スギ(大原明神社)  
O. カツラ(須川河内神社)  
P. ムクノキ(河内神社)  
(美和町)

た。これについて多かったのはクリで31の神社に、3番目から5番目は、それぞれはシラカシ、コナラ、ツクバネガシで26、25、16の神社にあり、これらは出現頻度が20%以上となっていた。一方、アカガシ、ミズナラ、カシワ、クヌギ、イチイガシ、シリブカガシなどの6種類は出現頻度が10%未満であった。

この地域でも、他の地域と同様にアラカシ、コナラの出現頻度が高かった。しかし、ツブラジイについては、他で出現頻度50%以上を占める地域があるにもかかわらず、10%と低い出現頻度であった。神社林以外の森林においてもほとんどシイの木はみられず、他の地域とは異なった森林の様相をみせていた。また、わずかな出現頻度であるが、今までの調査でほとんど見ることができなかったカシワやミズナラを観察することができた。そして、山口県内において同様に出現頻度の低いイチイガシが、5ヶ所もの神社で観察することができた。イチイガシ林としては、裏山一面が胸高直径50cm以下のイチイガシ数十本からなる錦町の広瀬八幡宮の神社林で観察できた。ここでは胸高直径20cmの個体も見られ、山口県内ではめずらしいイチイガシが更新している状況が見られる林であった。一方、美川町の河内神社（美川町南桑）では、社殿周囲から後ろにかけての急な斜面に胸高直径90cm程度のイチイガシが4本生えており、古いイチイガシが神社林として大切に残されていることがうかがえた。

この地域の神社には胸高直径100cm以上の巨樹は、合計21本であった。ドングリの巨木は、他の地域と比べ、種類数が多くイチイガシ、ウラジログシ、シラカシ、ツクバネガシの4種類であった。イチイガシの巨木は、本郷八幡宮（本郷村本郷、図2 I）の個体が胸高直径150cmと一番大きいのが、白山社（錦町広瀬、図2 J）、河内神社（美川町南桑、図2 K）の個体も樹勢は旺盛で幹がしっかりしていた。府谷八幡宮（錦町府谷）には、胸高直径128cmをはじめとするツクバネガシの巨木（図2 L）が数個体（80cm程度）を含むツクバネガシ林の様相を呈していた。ウラジログシの巨木（図2 M）は、宇佐八幡宮（錦町宇佐）で、また、シラカシの巨木は本郷八幡宮（本郷村本郷）で確認した。

ドングリ以外では、宇佐八幡宮（錦町宇佐）のスギ巨樹群の胸高直径190cmのものと大原明神社（錦町大原）の2m付近で3分岐したスギ（図2 N）の胸高直径190cmのものが最大であった。宇佐八幡宮のスギは直径でやや巨木としては小さいが、高さは45mと県内最高のスギであった。宇佐八幡宮にほかにも4本の巨木があり、確認できたが、どのスギも真っ直ぐ健全に成長し、他の地域の個体と比べ、樹高の高い個体となっていた。スギは、河内神社（錦町須川）の胸高直径180cmのものや、神沼田神社（錦町須川）の胸高直径150cmのものなど錦町だけで合計11本の巨木を確認した。スギ材として寂地スギは県内でも有名であり、真っ直ぐ高く育つ環境の良さをうかがい知ることができた。スギ以外の樹木としては、須川河内神社（錦町須川）のカツラ（図2 O）（150cm）や府谷八幡宮（錦町府谷）のヒノキ（110cm）、河内神社（美和町北中山）のムクノキ（図2 P）（120cm）などを確認することができた。神社にあった大きな樹木については表1に示してある。

### 地域ごとのドングリの種類

今回調査した神社を錦町、美川町、本郷村、美和町に分け、ドングリの種類とそれぞれの出現数を表2に示してある。4町村のドングリの種類別出現頻度を比較すると、共にアラカシが最も多い。しかし、2番目の出現頻度を示したドングリは、錦町・美川町ではシラカシ、本郷村ではコナラ、美和町ではクリとこれまでの調査と異なった傾向がみられた。他の地域では、コナラ、ツブラジイ、クリが多い傾向がよくみられたが、シラカシが出現頻度2番目となるこ

表1 神社にあった大きな樹木

樹木の種類	所在地と大きさ
イチイガシ	白山社（錦町広瀬, 120cm・18m）、河内神社（美川町南桑, 115cm・20m）、本郷八幡宮（本郷村本郷, 150cm・25m）
ウラジロガシ	宇佐八幡宮（錦町宇佐, 115cm・23m）
シラカシ	本郷八幡宮（本郷村本郷, 120cm・20m）
ツクバネガシ	府谷八幡宮（錦町府谷, 128cm・20m）
カツラ	須川河内神社（錦町須川, 150cm・20m）
スギ	宇佐八幡宮（錦町宇佐, 190cm・45m、171cm、164cm、130cm、127cm・4本は40m程度）、劔靈神社（錦町宇佐郷, 124cm・30m）、河内神社（錦町須川, 180cm・45m）、神沼田神社（錦町須川, 150cm・30m）、河内神社（錦町深川, 118cm・22m）、白山社（錦町広瀬, 108cm・36m）、大原明神社（錦町大原, 190cm・20m）
ヒノキ	府谷八幡宮（錦町府谷, 110cm・20m）、金郷八幡宮（美和町渋前, 108cm・26m）
ムクノキ	河内神社（美和町北中山, 120cm・17m）

( ) の数字は胸高直径と樹高を示す

表2 地域ごとのドングリの種類と出現数

ドングリの種類	ドングリの種類と神社数				
	錦町 (27神社)	美川町 (12神社)	本郷村 (10神社)	美和町 (32神社)	合計 (81神社)
コナラ	5 (19)	3 (25)	4 (40)	13 (41)	25 (31)
ミズナラ	2 (7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)
カシワ	1 (4)	0 (0)	0 (0)	1 (3)	2 (2)
クヌギ	1 (4)	0 (0)	0 (0)	3 (9)	4 (5)
アベマキ	2 (7)	1 (8)	2 (20)	6 (19)	11 (14)
アカガシ	1 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
ツクバネガシ	5 (19)	1 (8)	3 (30)	7 (22)	16 (20)
アラカシ	11 (41)	9 (75)	8 (80)	22 (69)	50 (62)
シラカシ	9 (33)	4 (33)	3 (30)	10 (31)	26 (32)
ウラジロガシ	6 (22)	1 (8)	1 (10)	3 (9)	11 (14)
イチイガシ	2 (7)	2 (17)	1 (10)	0 (0)	5 (6)
シリブカガシ	2 (7)	1 (8)	0 (0)	4 (13)	7 (9)
ツブラジイ	0 (0)	2 (17)	1 (10)	5 (16)	8 (10)
ク　　リ	8 (30)	2 (17)	2 (20)	19 (59)	31 (38)

数字は出現数、( ) の数字は割合 (%)



とは稀で、特異な結果である。錦町では今までの研究で多いとされてきたツブラジイが全くみられず、他の地域と比較し、錦町の大きな特徴となっていた。この4町村ではとなり合わせの町村とはいえ、地域間の差が大きく出ていることが理解できた。

4町村で共通して多く見られたものはシラカシとツクバネガシであった。これらの種類のドングリは山口県では内陸性の種となっていたが、今回の調査でも同様の結果を得ることができた。また、カシワとミズナラについては、出現頻度はともに低く、地域的には離れたところとなっているが、どちらとも寂地山や羅漢山に近い神社で確認しており、ある程度の高度が必要である種であることがわかった。

## 論 議

錦町、美川町、本郷村、美和町4町村の神社を調べ、合計14種のドングリを観察することができた。種類数は他の地域とほぼ同じであるが、今回初めてミズナラを観察できたのは大きな収穫であった。ミズナラを観察したことで、山口県にある21種のドングリのうち、神社林で18種類を観察したことになった。今回の調査において1神社あたりのドングリの種類数は2.5で今までの調査結果と比べ、平均的な値である。しかし、山間部でたくさんのドングリがありそうな錦町が2.0であり、美和町が2.9と地域的に出現数に差があった。これは、今回の調査中にも感じたことであったが、過疎化が進みもともとは山の中にあつた神社を家の近くに建て替えていることから起こった結果はないかと思われる。実際に本郷村西黒沢の出雲神社は、数件の家で神社を管理し、「昔は山の奥にあつただけで参ることができなくなって降ろしてきた。」と話されているところもあつた。その神社に案内してもらって行ってみると、人がほとんど足を踏み入れていないような場所に神社跡があり、その場所にはスギ・ヒノキの植林以外の雑木の森が残されていた。そして、新しく建ててある場所は自宅の庭のような場所であり、ツツジなどの庭木が植えてあつた。

今回の調査で、アラカシ、コナラの出現頻度は、やはり今まで調べてきた山口県内の全ての地域と同様で高いものとなっており、山口県全域で優先して見られるドングリであることが明確になった。しかし、近隣の低地である岩国市では、アラカシの出現頻度が78%であつたのが、今回の調査地では62%であつた。今回のように海拔700mに近い地域になるとアラカシの出現率が徐々にではあるが、減ってきていることがわかる。特に錦町にいたっては41%と50%を下回る値になってきている。その分、ツクバネガシやシラカシ、ウラジロガシの割合が増えてきていることから、これらの種がアラカシに比べ、内陸もしくは高地の特性をもつドングリであることがうかがえる。これまでの調査結果によると、シラカシの出現頻度が30%を超えていたのは、美東町、秋芳町、豊田町、美祢市、鹿野町、阿東町、旭村・川上村の8市町村であり、シラカシが内陸性の種であると予想されていたが、今回の錦町、美川町、本郷村、美和町の4市町村も30%を超えており、内陸部においてシラカシが多く分布していることがより明確となった。

また、今までの県内の調査においてカシワは油谷町の古典樹苑に明らかに植樹されたもの以外にはなかつた。また、ミズナラは今回が初めての記録であり、寂地山や羅漢山付近の観察地域でのみ観察できたことになる。前にも述べたが、カシワやミズナラについては、ドングリの中で高地もしくは寒冷地の特性を持つものであることが理解できた。

シリブカガシについては山口県東部に多いことがわかっていたが、由宇町・岩国市のシリブカガシの出現頻度は19%で、錦町・美川町・本郷村・美和町については9%と低くなつていた。

しかし、由宇町、岩国市を中心として山口県東部に多い種であることは確かめられた。

アベマキについてもシリーブカガシと同様に山口県東部が多くなるというデータがあり、由宇町・岩国市の出現率が26%で、今回の調査地域で14%なのでシリーブカガシ同様由宇町、岩国市を中心として東部に多い種であることは確かめられた。このことは調査地の中でも東に位置する美和町が19%と高いことから、山口県東部に主に偏在する種と考えることができる。

ツクバネガシについては、各地で数%~10%程度みられたが、錦町・本郷村・美和町については、約20%の出現頻度を示しており、特に本郷村にいたっては30%となっていることから、ツクバネガシ自体が内陸性のドングリもしくは、高地性のドングリであると推測できた。

今回の研究で地域ごとの出現頻度を見ていくと、内陸部の隣り合わせのごく近い地域においても、ドングリには地域性があることがわかった。すなわち、同じ内陸にあってもドングリの出現頻度が大きく変わったり、山口県全域に普遍的に見られる種についても、気候や高度の微妙な違いによってもドングリの分布に影響を与えることがわかってきた。今後は、残されている地域のドングリの植生を調査・研究すると共に調査済み地域との比較を行い、山口県全域にわたるドングリの分布域の詳細な研究を進めることが課題である。

## 謝 辞

この研究にあたり資料集めに協力して下さった川野裕史氏に深く感謝致します。

表3 神社とドングリの種類

番号	神社名	所在地	ドングリの種類
1	河内神社	錦町宇佐	ウラジロガシ
2	宇佐八幡宮	〃 宇佐	ウラジロガシ, クリ, コナラ, ツクバネガシ, ミズナラ
3	水神社	〃 宇佐郷	アカガシ, アベマキ, アラカシ, ウラジロガシ, カシワ, クリ, コナラ, ミズナラ
4	劔靈神社	〃 宇佐郷	
5	河内神社	〃 宇佐郷	アラカシ
6	河内神社	〃 大原	シラカシ
7	大原明神社	〃 大原	ウラジロガシ
8	河内神社	〃 大原	アラカシ, シラカシ
9	丸子神社	〃 大原	アラカシ, ツクバネガシ
10	河内神社	〃 須川	
11	須川河内神社	〃 須川	
12	大神宮	〃 須川	クリ, コナラ
13	大歳神社	〃 須川	
14	神沼田神社	〃 須川	ウラジロガシ, クリ, コナラ
15	松尾社	〃 須川	シラカシ
16	河内神社	〃 大野	
17	河内神社	〃 深川	シラカシ
18	河内神社	〃 府谷	アベマキ, アラカシ, シラカシ, シリブカガシ
19	出市天満宮	〃 中ノ瀬	クリ
20	府谷八幡宮	〃 府谷	アラカシ, クリ, ツクバネガシ
21	香椎神社	〃 広瀬	ウラジロガシ, シラカシ
22	寄江神社	〃 府谷	アラカシ, シラカシ
23	広瀬八幡宮	〃 広瀬	アラカシ, イチイガシ, シリブカガシ, シラカシ
24	白山社	〃 広瀬	アラカシ, イチイガシ, ツクバネガシ
25	日前神社	〃 広瀬	
26	須賀社	〃 広瀬	アラカシ, クリ, シラカシ
27	野谷神社*	〃 野谷	アラカシ, クヌギ, クリ, コナラ, ツクバネガシ
28	大元神社	美川町小川	イチイガシ
29	河内神社	〃 四馬神	アラカシ, ウラジロガシ, シラカシ, ツブラジイ
30	速田神社	〃 四馬神	アベマキ, アラカシ, コナラ
31	流神社	〃 四馬神	アラカシ, シラカシ
32	船津神社*	〃 南桑	アラカシ
33	河内神社	〃 南桑	アラカシ, イチイガシ
34	猪木屋神社*	〃 四馬神	アラカシ, クリ, コナラ, シラカシ
35	山内神社	〃 根笠	アラカシ, ツブラジイ, シリブカガシ
36	河内大照神	〃 南桑	
37	黄幡神社	〃 南桑	アラカシ, クリ
38	奴田原神社*	〃 根笠	アラカシ, シラカシ, ツクバネガシ
39	杵崎神社	〃 根笠	コナラ
40	茅原神社*	本郷村本谷	アラカシ
41	日ノ浦神社*	〃 西黒沢	アベマキ, アラカシ, コナラ
42	河内五所大明神	〃 本谷	アラカシ, クリ, コナラ, シラカシ
43	出雲神社	〃 西黒沢	アベマキ, コナラ

44	宇都可神社	本郷村宇都可	アラカシ, シラカシ
45	神田社	〃 本郷	アラカシ
46	本郷八幡宮	〃 本郷	アラカシ, イチイガシ, ウラジロガシ, クリ, コナラ, シラカシ, ツクバネガシ, ツブラジイ
47	楮祖神社	〃 波野	アラカシ, ツクバネガシ
48	須賀社	〃 波野	アラカシ, ツクバネガシ
49	金比羅神社	〃 波野	
50	山祇神社	美和町秋掛	ウラジロガシ
51	生見川社	〃 秋掛	
52	上ヶ原神社*	〃 秋掛	クリ
53	河上社	〃 秋掛	アベマキ, アラカシ, ウラジロガシ, カシワ, クリ, コナラ, ツクバネガシ
54	河内神社	〃 秋掛	クリ, コナラ
55	南宮	〃 秋掛	
56	河内神社	〃 北中山	クリ
57	八幡宮	〃 北中山	アラカシ
58	河内神社	〃 北中山	
59	河内大明神	〃 釜ヶ原	アラカシ, ツクバネガシ
60	河内神社	〃 阿賀	アベマキ, コナラ, シラカシ
61	白羽神社	〃 北中山	クリ, コナラ, シラカシ
62	速田神社	〃 阿賀	シラカシ
63	河内社	〃 釜ヶ原	アラカシ, ウラジロガシ, クリ, コナラ, シリブカガシ, ツクバネガシ
64	高森八幡宮	〃 北中山	アラカシ, シラカシ
65	河内神社	〃 上駄床	アラカシ, クリ, ツクバネガシ, ツブラジイ
66	河内神社	〃 下畑	アラカシ, クリ, シラカシ
67	木舟神社	〃 生見	アベマキ, アラカシ, クリ, コナラ
68	生見八幡宮	〃 生見	アラカシ, シラカシ, ツブラジイ
69	岩羽神社	〃 下畑	アラカシ, クリ, コナラ, シラカシ
70	出雲山城教会	〃 下畑	アラカシ, クリ
71	跡社神社	〃 瀬戸の内	アベマキ, アラカシ, クヌギ, クリ, コナラ, シラカシ, ツクバネガシ
72	岸根神社*	〃 岸根	アラカシ, クリ
73	河内神社	〃 滑	アベマキ, アラカシ, クヌギ, コナラ, シリブカガシ, ツブラジイ
74	河内神社	〃 大根川	アラカシ, クリ, コナラ
75	大元社	〃 生見	アラカシ, クリ
76	河内神社	〃 下畑	アラカシ, シラカシ, シリブカガシ
77	春日神社	〃 佐坂	アベマキ, アラカシ, クリ, コナラ
78	金郷八幡宮	〃 渋前	アラカシ, クヌギ, クリ, コナラ, ツクバネガシ, ツブラジイ
79	金比羅神社	〃 渋前	アラカシ, クリ
80	大元宮	〃 西畑	アラカシ, シリブカガシ, ツクバネガシ, ツブラジイ
81	大歳神社	〃 下畑	アラカシ, クリ, コナラ, シラカシ

\* 神社名が不明で仮称

## 引用文献

- 阿部弘和 (1985) : ドングリの分類と観察、遺伝39巻9号、66-71
- 阿部弘和・森田和則 (1989) : 山口県のドングリ (2) 阿武郡、萩市の神社林のドングリ  
山口大学教育学部研究論叢、39巻 (第2部)、13-27
- 阿部弘和・郡司浩史 (1991) : 山口県のドングリ (3) 防府市、徳地町、鹿野町の神社林のドングリ  
山口大学教育学部研究論叢、41巻 (第2部)、23-36
- 阿部弘和・臼井直希 (1994) : 山口県のドングリ (4) 宇部市、楠木町、美東町の神社林のドングリ  
山口県教育学部研究論叢、44巻 (第2部)、1-12
- 阿部弘和・臼井直希 (1994) : 山口県のドングリ (5) 秋芳町、三隅町、長門市の神社林のドングリ  
山口県教育学部研究論叢、45巻 (第2部)、19-30
- 阿部弘和・岡原恵子 (1997) : 山口県のドングリ (7) 大島郡の神社林のドングリ  
山口県教育学部研究論叢、47巻 (第2部)、13-25
- 阿部弘和・岡原恵子 (1998) : 山口県のドングリ (8) 熊毛郡、柳井市、大島町の神社林のドングリ  
山口県教育学部研究論叢、48巻 (第2部)、11-24
- 阿部弘和・原田憲幸 (1999) : 山口県のドングリ (9) 下松市、熊毛町、光市の神社林のドングリ  
山口県教育学部研究論叢、49巻 (第2部)、1-11
- 阿部弘和・原田憲幸 (2000) : 山口県のドングリ (10) 徳山市、新南陽市の神社林のドングリ  
山口県教育学部研究論叢、50巻 (第2部)、21-30
- 阿部弘和・小路聡 (2001) : 山口県のドングリ (11) 小野田市、山陽町、美祢市の神社林のドングリ  
山口大学教育学部研究論叢、51巻 (第2部)、45-58
- 阿部弘和・松富憲之 (2002) : 山口県のドングリ (12) 油谷町、日置町の神社林のドングリ  
山口大学教育学部研究論叢、52巻 (第2部)、13-27
- 岩田利治 (1965) : 図説樹木学—広葉常緑樹編—、朝倉書店 (東京)
- 岡国夫ほか (1972) : 山口県植物誌、山口県植物誌刊行会 (山口)
- 岡国夫 (2000) : 山口県の巨樹資料 植物調査の歩み、山口県植物研究会 (山口)
- 吉良竜夫 (1976) : 自然保護の思想、人文書院 (東京)
- 北村四郎・村田源 (1979) : 原色日本植物図鑑木本編、保育社 (東京)
- 社寺林調査研究委員会 (1985) : 山口県の社寺林、社寺林調査研究委員会 (山口)
- 花岡隆義・阿部弘和 (1986) : 山口県のドングリ (1) 山口市の神社林のドングリ  
山口大学教育学部研究論叢、36巻 (第2部)、27-36
- 原靖治・阿部弘和 (1985) : 野外学習の進め方：ドングリの分類と観察  
山口大学教育学部研究論叢、35巻 (第3部)、59-80
- 西村淳・阿部弘和 (1996) : 山口県のドングリ (6) 由宇町、岩国市、和木町のドングリ  
山口大学教育学部研究論叢、46巻 (第2部)、19-28
- 松富憲之・阿部弘和 (2003) : 山口県のドングリ (13) 豊北町、豊浦町の神社林のドングリ  
山口大学教育学部研究論叢、53巻 (第2部)、1-13
- 松富憲之・阿部弘和 (2003) : 山口県のドングリ (14) 豊田町、菊川町の神社林のドングリ  
山口大学教育学部研究論叢、54巻 (第2部)、81-90
- 矢頭献一・岩田利治 (1966) : 図説樹木学—落葉広葉樹編—、朝倉書店 (東京)
- 山口県野外植物研究委員会 (1993) : 山口県の社寺林、山口県野外植物研究委員会 (山口)